



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

Title	[研究ノート]「若者支援」の担い手の多様性：地域若者サポートステーション事業の展開から
Author(s)	南出, 吉祥
Citation	[岐阜大学地域科学部研究報告] vol.[41] p.[127]-[143]
Issue Date	2017
Rights	
Version	岐阜大学地域科学部 (Faculty of Regional Studies, Gifu University)
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/72800

この資料の著作権は、各資料の著者・学協会・出版社等に帰属します。

【研究ノート】

「若者支援」の担い手の多様性 —地域若者サポートステーション事業の展開から—

南 出 吉 祥

(2017 年 6 月 29 日受理)

The Diversity of the Organization in Youth Support Practice

Kisshou MINAMIDE

はじめに

1990 年代半ば以降、教育／労働／福祉の谷間で生じていた若者の社会的排除の問題に対し、2000 年代半ばごろからは政策的にもさまざまな対策が取られるようになってきた。とはいえ、若者の社会的排除は、教育／労働／福祉の狭間に生じた問題でもあり、現在においてもその制度的位置づけはきわめて曖昧な状態にとどまっている。実際の支援の過程においても、就労、福祉、教育、心理、医療など多面的な課題が集積しており、どれか一つに絞り切れるものではない。そのため、活用可能な各種制度や地域資源などを適宜組み合わせながら、個々の実情に応じた支援が行なわれている。そしてまた、若者支援の担い手についても、団体の出自や拠って立つ専門性などの多様さが際立っている。

しかし他方で、近年では成果を「就労」に求める圧力が一層強まってきており、それぞれの団体が得意としてきた支援スキームとの齟齬が目立つようになり、運営にも支障をきたすような状況も広がりつつある。当初より、若者支援において「就労支援」は大きな位置づけを占めていたという側面もあるが、ここ数年はその傾向がさらに際立ってきている。後に見るようにその背景には、「ひきこもり支援」「生活困窮者支援」など、内容的にも関連する他事業がさまざま整備されていくなかで、あらためて若者支援の位置づけが問われることとなり、その活路を「就労」に見出そうとしている様子が見える。

各種「若者支援政策」のなかでも、とりわけ中核的な位置づけ・役割を期待されてきたのが、若年無業者を主たる対象に据え、2006 年度から 25 か所で事業がスタートし現在では全国 160 か所で実施されている「地域若者サポートステーション」（以下、「サポステ」）事業である。法的には若者雇用促進法に位置づけられ、「就労支援機関」としての役割がいつそう明確にされているが、設立当初は必ずしも「就労自立」だけに特化した事業ではなく、多様な自立の課題に取り組むための支援が期待されてもいた。そういった経緯もあり、サポステは、不登校支援、障害者支援、社会教育活動などさまざまな

背景や本体事業を有した団体が実施している。しかし上記のように、就労達成への圧力は年々強まっており、現在では委託費の額も含めた事業評価が就職等進路決定率で測られるとともに、事業の対象者も一定の就労意欲を持ち、安定就職を目標にしうる若者とされている¹。さらに2017年度事業の公募からは、従来までの委託事業の募集ではなく入札形式での募集となり、サポステのあり方は大きな転機を迎えつつある(小山田2017)。

そこで本稿では、サポステ事業を対象に据え、若者支援の担い手の多様性の実態について、実証的に明らかにする。若者が直面する困難には、もちろん就労にかかわる問題も大きな存在としてあるが、それに尽きるものではないし、支援の手法・専門性も多様にありうる。そのことを傍証する基礎資料として、スタートして10年が経過するサポステの初期・中期ごろの展開状況を整理しておく。

まず第1節では、若者支援関連政策におけるサポステの位置づけをめぐる変遷と錯綜の様子を確認し、第2節ではサポステ初期の頃の実践課題の「多様さ」を当時のパンフレットをもとに検証する。そして第3節では、2006年度から2013年度までのサポステ実施団体の一覧を作成し、団体ごとの主たる活動を精査することで、おおよその専門性に即して分類を行なう。それらを通して、今でこそ「就労支援」に焦点化されているサポステ事業ではあるものの、そこには多様な専門性を有した団体・担い手が集まっていることを明らかにしたい。

1. 若者支援にかかわる制度・政策

まず、若者支援にまつわる各種制度・政策レベルでの多様性を確認していく。全体の傾向としては、従前から若者を対象に据えて取り組まれてきた青年教育・勤労青少年福祉の衰退・廃止が進められる一方、「若者支援」関連施策は徐々に広がりを見せているという傾向がうかがえる。しかし若者支援施策においても、多様な制度や窓口が整備されるにつれ、当初の総合性・全体性は徐々に失われ、細分化しつつある現状もある。

周知のように、いわゆる「若者支援」が政策課題として取り上げられるようになったのは、2003年の「若者自立・挑戦戦略会議」が発端となっている(児美川2010、南出2015など)。正規雇用の抑制と非正規雇用の増大という労働市場・企業行動の変容を受け、「学校から仕事への移行」がスムーズに機能しなくなった状況から、これまでの教育／労働／福祉の枠組みでは対処しえない課題として、省庁横断的なかたちでの取り組みが検討されたのである。この会議が出した「若者自立・挑戦プラン」はその後幾度かの改訂を挟みながら、2006年まで各種の政策提案を続けてきたが、ジョブカフェの設置やキャリア教育の推進など、基本的な基調は「就労支援」に置かれていた。しかし2004年には、教育機関や職場に所属しておらず、就職活動もしていない若年無業者が「ニート」という名でにわかに世間の注目を集め、「ニート批判言説」が広がった。それを受け、若者支援政策の基調も徐々に「就労支援」から「若者自立支援」へと推移していくようになり、若者自立塾や地域若者サポートステーションなど、「ニート対策」という枠組みで施策が展開されるようになっていった。

そうした動きが、後の「子ども・若者育成支援推進法」(2010年)の制定へと結実し、法的基盤が付与され今後いっそうの充実発展が期待されていたのであるが、2010年前

¹ サポステの評価基準の変遷については、宮本(2015)にまとめられている。

後以降の若者支援は、各種周辺施策との関連などの影響もあり、紆余曲折をたどり模索を続けている状況がある。なかでも大きいのは、2009年のリーマンショックを契機とした雇用の不安定化（派遣切りなど）と貧困問題の増大を受け着手された「緊急雇用対策事業」である。その一環として始められた「パーソナル・サポート・サービス事業」は、それまでサポステが担ってきた「総合的かつ包括的なネットワーク型支援」を引き継ぎつつ、それを全年齢層に拡張し実施するものであった。それが後の「生活困窮者自立支援事業・法」になっていくのであるが、その施策が展開されていくなかで、あらためて若者支援、とりわけサポステの位置づけ・社会的役割が問い直されるようになり、一時は不要論まで持ち出されるほどであった²。それに対して「学校連携」に活路を見出してみたり、「就労自立」の強化を打ち出してみたりなど、不安定な政策状況が続いてきた。その後、2015年の「若者雇用促進法」の制定（「勤労青少年福祉法」の改正）によって、地域若者サポートステーションは同法内に位置づけられるようになったが（第23・24条）、そこでの位置づけは「職業生活における自立の促進」とされており、設立前夜の「多様な自立を支援するための機関」（内閣府2005）という構想は、名実ともに抑え込まれてしまったと言えるだろう。

そして子ども・若者育成支援推進法についても、法は若者だけでなく「子ども」も対象に据えるということで、本法に基づく支援機関としての「子ども・若者総合相談センター」は、若者対象のサポステとは別扱いで施策が展開されるようにもなった。実際には、両者を一体的に運用している自治体も少なくないが、屋上屋根を重ねるような支援機関ができたことで、サポステはいっそう「就労支援」という方向性を余儀なくされたという状況も生じている。また、かつては実質的に一体的なもの³として行なっていた「ひきこもり支援」については、精神保健福祉の領域においてガイドラインが制定されたり「ひきこもり地域支援センター」が設置されたりなどして、これまた別枠での支援が新たに展開されていくようになっていった。

これらの諸施策（「子ども・若者総合相談センター」「生活困窮者自立支援事業」「地域若者サポートステーション」「ひきこもり地域支援センター」）は、事業ごとの予算規模や設置個所数もバラバラで、地域により活用可能な資源の格差も大きいがおそらく総量としては予算規模も設置個所数も増大したと言えるだろう。しかし事業の種別が増えることにより、若者支援施策創設期にあったような「総合性・包括性」という側面は弱まり、細分化や「制度の狭間への落ち込み」などの問題が生じかねない状況となっている。

【略年表】

² 2013年（平成25年）11月に実施された行政改革推進会議「秋のレビュー」の評価結果では、「本事業以外にも地方自治体及び民間による取組、生活困窮者自立促進支援の枠組みづくりが進められている中、事業は有効とはいえず、事業に終期を設けるなど事業の出口戦略が必要ではないか」と記されている。

³ あくまでサポステは「ニート支援」であり、「ひきこもり支援」ではないという制度的体裁が取られてはいたものの、実際には同じ対象を別の側面から捉えた用語法に過ぎない面もあるため、両者を区分して捉えることに実質的な意味はあまりない。

1999年	〔青年学級振興法廃止〕	2010年	〔子ども・若者育成支援推進法〕
2003年	〔若者自立・挑戦プラン〕	2010年	パーソナル・サポート・サービス
2004年～	ジョブカフェ		(～2012年)
2005年	若者自立塾 (～2010年)	2011年	〔求職者支援法〕
2006年～	地域若者サポートステーション	2013年	〔生活困窮者自立支援法〕
2009年～	ひきこもり地域支援センター	2015年	〔若者雇用促進法〕
2009年	緊急雇用対策事業 (基金訓練、 雇用創出、住宅扶助、生活訓練給付金) (～2011年)		(=勤労青少年福祉法改正)

表1 若者支援関連施策の年表および分布図 (南出 2015 より)

2. サポステ初期段階におけるチラシの多様性

こうした政策の変遷が進むなかで、事業の性格が最も大きく揺れ動いてきたのが、「若者自立・挑戦戦略会議」の最終盤で提起され事業が開始された地域若者サポートステーションである。当初、世間でにわかに注目されるようになった「ニート」言説を受けて、ジョブカフェやハローワークなど「就職支援機関」の手前での支援が必要な若者たちへの対応として、「若者自立塾」とともに始められた施策である。

このサポステ事業は、内閣府の「若者の包括的な自立支援方策に関する検討会」報告書 (内閣府 2005) にて提起された構想で、イギリスで取り組まれてきた「コネクションズ・サービス」をモデルとしつつ、包括的・継続的な支援を展開していく拠点としての「ユースサポートセンター」がその発端となっている。そこでは、「自立の在り方は一様ではない」と明記され、個々の生活環境に即して判断されるべき問題であるということが前提において示されていた。そして「地域における取組の例」として挙げられている実践も、就労支援を軸に展開しているものだけでなく、青少年活動センター (社会教育) の運営や非行少年の立ち直り支援を行なう少年センター (司法福祉) の取り組みなど、多様なものとなっている。

しかし、サポステ事業の所管が厚生労働省の職業能力開発局となったこともあり、サポステは「若者の職業的自立支援を行う」機関として位置付けられることとなった。しかし実際には、サポステ開設当初はさほど明確に「就労支援」が強調されるようなことはなく、それぞれの受諾団体の特性・専門性に応じた多様な実践が展開されていた。

その多様性を確認する材料として、ここでは 2010 年ごろまでの間に使用されていた各地のサポステのパンフレットに記載されたキャッチコピーを用いてみたい。サポステは、2010 年度時点では 100 か所で実施されていたが、そのうち現物やホームページ経由で入手できた 50 か所のサポステのパンフレットを収集し、そこに掲げられたキャッチコピーを抜粋し、内容ごとに一覧化したものが表 2 である。すべての団体のものを収

「若者支援」の担い手の多様性—地域若者サポートステーション事業の展開から—

集できたわけではないが、それでも相応の多様性と傾向性を確認することは可能となっている。ただ、パンフレットの入手時期がはっきり特定できないため、実施団体との照合は避け、コピーのみの一覧とした。なお念のため、次節で検討する実施団体の分類とも照らし合わせてみたものの、記された文言との連動性や傾向性は確認することができなかった。

①【働く】

まず、全体において最も多いのが、「働く」ということを軸にした呼びかけを文言に入れているチラシである。働けないでいる状態に置かれた若者としての「ニート」を支援するという制度的位置づけからすると、ごく自然な流れだといえるだろう。ただし、同じ「働く」であっても、その描かれ方にはかなり幅があり、スーツを着たビジネスマンをモデルにした画像のものもあれば、「はたらく」とひらがな表記で、柔らかいタッチの絵で描かれたものもあり、幅は広い。



南大阪若者サポステ



若者就業サポステ・みえ



青森県若者サポステ



山梨県若者サポステ

②【一歩】

そして次に多かったのが、「はじめの一歩を踏み出そう」というようなメッセージで、キャリアに対する「歩み」を軸に据えたコピーである。「働く一歩」というように、就労と関連付けたものもあるが、「仕事」「就労」などの文言は極力避けられ、多様な方向性が示されているものが多い。逆に言えば、誰を対象に据えているチラシなのかが分かりづらいという点もあるかもしれない。



ほうふ若者サポステ



みやざき若者サポステ

③【自分発見】

そして、現在の時点から見ると非常に興味深いのが、「自分発見」「やりたいこと探し」というような内容を据えたコピーも多かったという点である。ここに該当するチラシは、就労支援との差異化のトーンが鮮明で、どちらかという社会参加に主軸を据えた案内が強く打ち出されているが、それぞれの個性が際立っており、特徴的なものが多い。



えひめ若者サポステ

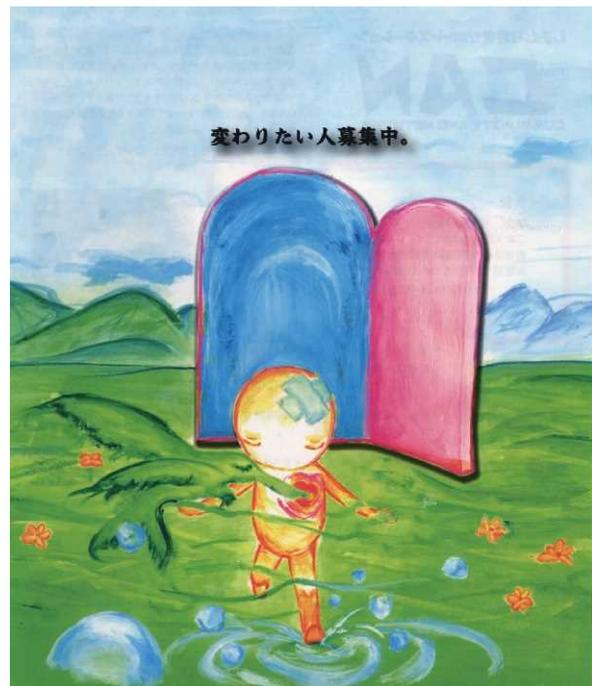


こうち若者サポステ

「若者支援」の担い手の多様性—地域若者サポートステーション事業の展開から—



せんだい若者サポステ



しおじり若者サポステ

④【その他】

「その他」として区分されているものは、どちらかというと明確なキャッチフレーズは記載されていないため、うまく区分ができなかったものが多い。ただ、「つなぐ」という部分に焦点化して呼びかけているチラシからは、単に若者だけを対象に据えているのではなく、地域づくりへの視点・志向性をうかがうこともできるという特徴がある。



村上地域若者サポステ



ながの若者サポステ

	「働きたいけどなかなかうごきだせない」「人と話すことが苦手で…」
	「働きたいのに働けない」から抜け出すはじめての一步をまずはここから。
	「働く」「学ぶ」を応援！
	あなたの「働きたい」を専門家が個別相談や支援プログラムで実現します！
	萌える就職活動／戦え！就職活動！！（就職専隊チタハン10）
	「働きたいけど、踏み出せない」を、もう長引かせない。
	「就職活動のやり方が分からない」etc. そんなあなたを応援します
【働く】	働きたいけど働けない。でも…／そんな就労に関して悩みを抱えるわっかもんの強～い味方
	さまざまな理由で仕事ができずに悩んでいる若者の自立をお手伝いいたします。
	働くことに悩むあなたをサポートします
	働くことに悩むあなたをサポートします
	働くための準備はじめよう！
	働きたいけど働けないでいるあなたの最初の勇気を応援します
	君の中の働く君のために。
	働きたい…一步踏み出そう／そんなあなたをサポートします！
	もうニートとは呼ばせない 働く一步を後押しします！
	「働きたいのに、働けない…」はじめての一步、小さな一步 踏み出してみませんか？
	はたらく一步、踏み出してみませんか？
	生きること 働くこと あなたの悩みをいっしょに考えます。
	【一步】
はじめての一步、一緒にはじめよう	
” はじめての一步” 応援します	
一步、自分らしく。	
私たちと一緒に最初の一步を踏み出しませんか。	
サポステからはじまるキミの第一歩	
はじめての一步 まずはここから	
なかなか一步を踏み出せずにいるあなたを応援します！！	
新たな一步をいっしょに歩こう！いっしょにがんばろう！	
若者が未来を変える。あなたの一步をサポートします。	
明日へ” ゆっくり” 歩き出そう。	
悩んでいても始まらない！自分の道を踏み出そう！／ひとりじゃないから頑張れる！！	
【自分発見】	新しい自分、発見！
	新しい自分がここからはじまる。
	ココから探そう、未来の自分。
	「変わっていく自分がわかるはず。」若者の自立を支援します。
	発見！自分レボリューション ジ・シ・ンエボリューション
	ここには、なんだって描ける／ここから、どこへでも、行ける。
	あなたの中の「やる気」をサポートします！
	みつけた！！やりたいこと！やるべきこと！
	あせらない！あわてない！そして、あきらめない！
	変わりたい人募集中。
ちゃんと生きるってなんだ？／「あなたの未来」って大切です	
「つなぐ」ことからはじめてみよう。	
【その他】	若者が社会とのつながりをつくるための支援機関
	「あなたのこと聴かせてください」” 明日に向かってはじめての一步を”
	サポステから始めてみませんか？
	一緒にさがそう、あなたのステップ
	立ち止まったキャリアは動かします！君の未来を応援します！
若者の社会的自立をサポート	
子どもと若者に光とまごころを！	

表2 2010年頃の各サポステパンフレットに記されたキャッチコピー

3. サポステ実施団体の多様性

(1) 調査設計

前節では、サポステチラシからうかがえる実践の志向性についての多様性を確認したが、サポステの「担い手」の方はどうか。サポステは2006年度に25か所でスタートし、2013年度以降は160か所で実施されているが、同じ団体が複数地域のサポステを運営していることもある。また、同じサポステであってもずっと同じ団体が担い続けているわけではなく、実施団体が入れ替わっている場合もある。それらの変遷を含め、2006年度から2013年度までの実施箇所・団体を一覧にまとめたのが文末の表3である。

肝心の実施団体自体の分野（出自や専門性）をどのように整理するかというのは、それ自体大きな調査研究課題となるが、さしあたり本稿では実施団体ホームページ記載の「団体の経緯」および「事業一覧」を参照しながら、独自に分類を行なった。一つの団体内でも、多種多様な取り組みをしているところが多く、一概に一つの分野に絞り切れるわけではないし、ホームページデータに記載されている内容だけで判断できるものではないが、あくまで全体の傾向として捉えた限りでの分類である。なお分野の種別は、あらかじめ設定したものではなく、個々のケースに即して名づけとカテゴリー化を行ない、それらを集約したものである。

(2) 調査結果

そして表3のデータをもとに、件数を集計したのが以下である。【サポステベース】というのは「サポステ+実施団体」の組み合わせを1件とし、これまで実施されてきた事業をすべてカウントした場合の数値である。また【実施団体ベース】というのは、同じ団体が複数個所で実施している場合は合計で1件としてカウントした数値である。

【サポステベース】総数 188 (−28) 箇所 ※「(−〇)」は事業受託が終了した箇所数
〔キャリア支援〕 42 (−4) —若者就労支援：31 (−4) / 若者自立支援：11
〔不登校・ひきこもり支援〕 36 (−4)
 —不登校支援：19 (−3) / ひきこもり支援：15 (−1) / メンタルヘルス：2
〔教育〕 38 (−8)
 —社会教育：19 (−2) / 市民活動：6 (−3) / 学校教育：13 (−3)
〔福祉〕 26—障害福祉：8 / 地域福祉：8 / 労働者福祉：6 / 児童福祉：4
〔職業・労働〕 46 (−12)
 —職業訓練：3 (−2) / 人材育成：11 (−5) / 企業支援：7 (−3)
 / 情報インフラ：5 / 仕事起こし：20 (−2)

- 【実施団体ベース】 128 (−20) 団体** ※「(−○)」はサポステ事業から撤退した団体数
- 〔キャリア支援〕 30 (−4)** ——若者就労支援：20 (−4) /若者自立支援：10
- 〔不登校・ひきこもり支援〕 25 (−1)**
- 不登校支援：11 (−1) /ひきこもり支援：12 /メンタルヘルス：2
- 〔教育〕 30 (−8)**
- 社会教育：13 (−2) /市民活動：6 (−3) /学校教育：11 (−3)
- 〔福祉〕 21**——障害福祉：6 /地域福祉：7 /児童福祉：3 /労働者福祉：5
- 〔職業・労働〕 22 (−7)**
- 職業訓練：3 (−2) /人材育成：7 (−2) /企業支援：6 (−3)
- /情報インフラ：3 /仕事起こし：3

(3) 調査結果の概要

まず全体を見渡して分かるのは、それぞれの分野がわりと万遍なく分布しており、全体のバランスを保っているかのように見受けられる点である。若者の移行と生活を支える基盤となる〔教育―福祉―労働〕という三つの領域それぞれと、そこから零れ落ちてしまった若者への支援としての不登校・ひきこもり支援、そして「学校から仕事へ」の移行の困難に対応して生じてきた課題としてのキャリア支援（若者就労・自立支援）という並びは、これまでの若者研究で指摘されてきた論点に照らしてみても、首肯しうるものである。

その全体像を踏まえつつ、以下では分野ごとにその特徴を確認してみたい。

①キャリア支援（若者就労支援、若者自立支援）

「若者就労支援」「若者自立支援」と括った〔キャリア支援〕は、まさにサポステ事業が想定する業務内容に即した活動を展開している団体である。大まかな特徴としては、2000年代半ば以降に立ち上げられた団体が多く、他の分類に比べて歴史が浅い様子が見えがえる。なかには、任意団体としてずっと活動を続けてきた団体が、制度化や委託事業などを契機に体制を組み換え法人化したケースや、別団体から独立して立ち上げられたりするケースなどもあり、一概に「新しい団体」だと言えない側面もあるが、いずれにしても若者支援が一定の事業として実施されるようになってきたことへの対応として設立されてきたという傾向は確認できるだろう。「就労支援」と「自立支援」との区別は非常に曖昧であるが、必ずしも「就労」という方向性だけでなく、ひきこもり支援や社会参加なども含めて活動を展開している団体を括っている。

②不登校・ひきこもり支援（不登校支援、ひきこもり支援、メンタルヘルス）

そして、「若者支援」が政策化される前、かなり早い時期から活動を展開してきたの

が、〔不登校・ひきこもり支援〕に取り組んできた諸団体である。さしあたり「不登校支援」と「ひきこもり支援」（およびメンタルヘルス）に分けてみたものの、ほとんどの団体は「不登校・ひきこもり支援」と併記して活動に取り組んでおり、両者の差はきわめて小さい。活動の特徴としては、社会的所属を奪われた子ども・若者への支援ということもあり、フリースペースや共同生活など、「居場所づくり」がその核に置かれているケースが少なくない。サポステや自立塾に代表されるような「若者自立支援」が政策的にも求められるようになってきた背景には、2004年ににわかには世間の注目を集めた「ニート」言説の影響が少なくないが、「ニート」≡若年無業者の層と、継続的な社会的所属や社会関係を得られていないひきこもり状態の若者たちとはかなりの程度重なっており、その意味で不登校・ひきこもり支援で培われてきた支援スキームがそのまま若者支援としても適用されてきたとみることができるだろう。

③教育（社会教育、市民活動、学校教育）

そして、あまり表立って語られることは多くないものの、「社会教育」「学校教育」「市民活動」という区分からなる〔教育〕関係の団体もかなりの数に上る。世間的には、不登校・ひきこもり支援と就労・キャリア支援との両者がこの間の若者支援を牽引してきたというイメージが抱かれがちだが、実は教育関係の団体も多数サポステ事業に参入している。内訳の詳細を追ってみると、「社会教育」はその内部における多様さが際立っており、概ね「青少年活動」「国際交流」「自然体験活動」「生涯学習・地域づくり」に分けられる。そして「社会教育」ともかなりの程度重なりつつ、中間支援的な役回りで地域づくりを推進しているのが「市民活動」である。ただし、ここに挙げられた6団体のうち、3団体は事業を終了している。終了に至る経緯までは追えていないが、独自に事業を担いうる地域の団体が育ってくるまでの過渡的対応だという事情があるのかもしれない。そして「学校教育」に該当するのは、通信制高校やそのサポート校、専修学校や学習塾、フリースクールなどを運営する団体が並んでいる。その意味で、「不登校支援」とかなりの程度重なる取り組みとなっていることがうかがえる。他方で資格取得のための各種学校などは、後段の「職業訓練」との境目が付けづらいが、ここではとりわけ既存の学校教育との結びつきの強さの度合いで判断した。

④福祉（障害福祉、地域福祉、児童福祉、労働者福祉）

次にまとめた福祉関係もまた、「若者支援」以前から何らかの形で若者と向き合ってきた団体であるといえる。各種障害者支援や社会的養護、地域の総合相談など、必ずしも「若者」に限定した活動ではない事業枠組みであっても、実質的に若者たちへの支援活動を展開している場合も少なくない。

このグループの特徴は、事業実施主体の変動が一切なく、他のグループに比べ安定的

な運営がなされているという点である。また、事業内容としては福祉活動を軸に置いてはいるものの、社会福祉法人の参入は少なく、NPO 法人が中心的な担い手となっている様子がうかがえる。この点は、既存の各種福祉事業の枠内に収まりづらい課題に取り組む団体が、サポステ事業を活用して活動を展開していることの反映といえるかもしれない。

⑤職業・労働（職業訓練、人材育成、企業支援、情報インフラ、仕事起こし）

そして最後の〔職業・労働〕にまつわる活動をしている団体については、その下位項目の差が著しい。「職業訓練」「人材育成」については、若者を対象にした活動を軸に展開している団体で、その一環として若者支援に取り組んでいるが、それに対して「企業支援」の方は、むしろ雇用の受け入れ側の企業（とりわけ中小企業）に対する支援を主に展開している団体であり、その派生において労働者になりうる若者たちの支援をしているという構図である。そしてサポステ全体のなかで、同一団体で最も多くの事業を展開しているのがワーカーズコープであり、こちらは既存の企業との関係ではなく、自分たちなりの「仕事起こし」を掲げてさまざまな活動を全国で展開してきた団体である。その意味で、法人格こそ同一組織ではあるものの、事業所ごとに独自の展開・運営を行っているという側面もある。

まとめと残された課題

以上、本稿では若者支援政策のなかでも、中核的な位置づけを期待されてきたサポステを対象として、その多様性の実態を明らかにしてきた。1 節でも確認したように、2010 年以降、サポステ以外にもさまざまな支援施策が取り込まれるようになるにつれ、徐々にサポステの位置づけも変容し、もはや政策的には「中核」とは形容しがたい状況になってきている。しかし、全国各地の 100 以上にも上る実践団体により担われているサポステ事業は、やはり若者支援において重要な位置を占める施策の一つであることに変わりはないだろう。問題は、「就労支援」としての制度的位置づけがますます強まっていくなかで、実施団体の多様性が活かされていない状況である。

もちろん、制度的には同じ事業であるにもかかわらず、実施される内容が地域や担い手により著しく異なってしまう状況は、政策にとっても利用者にとっても好ましいものではないだろう。複数のサポステを選択できる条件のある地域であれば、それぞれの持ち味を活かした役割分担も可能となるが、物理的・地理的制約もある地域では、団体ごとの特質がそのまま地域ごとのサポステの差になってしまうためである。

ただ、そこで必要となるのは、外在的な基準を持ち込み統制していくのではなく、それぞれの団体や専門性ごとの持ち味・強みを交流し共有し合うなかで、「若者支援」

「若者支援」の担い手の多様性—地域若者サポートステーション事業の展開から—

に固有の共通基盤を実践内在的に探り、構築していくことである。本稿で確認してきたように、サポステ事業に参入している団体の種別・専門性は多岐にわたり、それら全体がカバーする領域は幅広い。2007～2012年度にかけて、サポステ中央センターを運営する日本生産性本部が「事例集」を出していた時期もあったが、そこで見出された内容を集約して独自のサポステ像を描き提起するまでには至っていない⁴。

なお、本稿で確認したのはあくまでチラシおよびホームページで確認できたデータの分析・整理にとどまっており、実際に支援の現場でどのような活動が展開されているのか、そこにある多様性はどのようになっているのかという部分の検証までは行なっていない。また、団体ごとの特質・歴史的背景と同団体が実施するサポステ事業との結びつきの度合い、あるいはサポステ事業への参入を決めた経緯などについても、未検証のままになってしまっている。それらを探るためには、個々の団体に即したより丁寧な事例検討が必要になってくるが、残された課題として明記しておきたい。

【参考文献一覧】

- 小山田健太（2017）「社会資源としての地域若者サポートステーションの検討」『筑波大学教育学系論集』第41（2）号
- 児美川孝一郎（2010）『若者自立・挑戦プラン』以降の若者支援策の動向と課題『日本労働研究雑誌』第602号、2010年9月
- 田中尚（2014）「地域若者サポートステーションの課題」『岩手県立大学社会福祉学部紀要』第16巻
- 内閣府（2005）「若者の包括的な自立支援方策に関する検討会報告書」
- 南出吉祥（2012）「若者支援関連施策の動向と課題」『岐阜大学地域科学部研究報告』第30号
- 南出吉祥（2015）「若者支援政策の変遷とその課題」『総合社会福祉研究』第45号
- 宮本みち子（2015）「若年無業者と地域若者サポートステーション事業」『季刊・社会保障研究』第51巻1号

⁴ 事例集の内容分析については、田中（2014）が2008～2012年度版を元を実施している。

表 3

	ジャンル	立地	所在地	サポステ名称	サポステ開始年度	終了年度	団体設立年	実施団体
1	若者就労支援	18	秋田県秋田市	あきた若者サポステ	2008	~2009	1991	(公財)秋田県ふるさと定住機構
1	若者就労支援	29	栃木県宇都宮市	とちぎ若者サポステ	2012		2010	(社)栃木県若年者支援機構
1	若者就労支援	32	群馬県前橋市	ぐんま若者サポステ	2007		2004	(非)キャリア倶楽部
1	若者就労支援	33	群馬県太田市	東毛若者サポステ	2010		2004	(非)キャリア倶楽部
1	若者就労支援	34	埼玉県川口市	かわぐち若者サポステ	2006		2004	(非)「育て上げ」ネット
1	若者就労支援	40	千葉県柏市	かしわ地域若者サポステ	2009		2004	(非)キャリアデザイン研究所
1	若者就労支援	46	東京都立川市	たちかわ若者サポステ	2006		2004	(非)「育て上げ」ネット
1	若者就労支援	52	東京都調布市	調布若者サポステ	2013		2004	(非)「育て上げ」ネット
1	若者就労支援	55	神奈川県横浜市	よこはま若者サポステ	2007		2005	(非)ユースポート横浜
1	若者就労支援	58	神奈川県川崎市	かわさき若者サポステ	2010		2004	(非)「育て上げ」ネット
1	若者就労支援	64	新潟県上越市	上越地域若者サポステ	2013		1992	(公財)新潟県雇用環境整備財団
1	若者就労支援	68	石川県金沢市	いしかわ若者サポステ	2011			石川県人材育成推進機構
1	若者就労支援	75	岐阜県岐阜市	岐阜県若者サポステ	2008		2005	(非)ICDSキャリア・デザイン・サポーターズ
1	若者就労支援	77	静岡県静岡市	静岡地域若者サポステ	2012		2002	(非)青少年就労支援ネットワーク静岡
1	若者就労支援	79	静岡県掛川市	地域若者サポステかがわ	2013		2002	(非)青少年就労支援ネットワーク静岡
1	若者就労支援	81	愛知県名古屋市中区	なごや若者サポステ	2007		2005	(非)ICDSキャリア・デザイン・サポーターズ
1	若者就労支援	83	愛知県半田市	ちた地域若者サポステ	2008		2005	(非)エンド・ゴール
1	若者就労支援	85	愛知県一宮市	いちのみや若者サポステ	2012		2005	(非)エンド・ゴール
1	若者就労支援	86	愛知県春日井市	春日井若者サポステ	2011	~2012	1992	(非)社会教育ネット
1	若者就労支援	100	大阪府大阪市	大阪市若者サポステ	2008		2004	(非)「育て上げ」ネット
1	若者就労支援	104	大阪府豊中市	とよなか若者サポステ	2013		2007	(社)キャリアブリッジ
1	若者就労支援	113	奈良県桜井市	若者サポステやまと	2013		2012	(株)やまと
1	若者就労支援	114	和歌山県和歌山市	若者サポステわかやま	2009		2006	(非)キャリア・ファシリテーター協会
1	若者就労支援	116	和歌山県橋本市	若者サポステきかわ	2013		2006	(非)キャリア・ファシリテーター協会
1	若者就労支援	124	広島県広島市	広島地域若者サポステ	2006	~2007	2004	(非)中国キャリアコンサルタント研究会
1	若者就労支援	126	山口県防府市	ほうふ若者サポステ	2007		2002	(非)コミュニティ友志会
1	若者就労支援	138	福岡県福岡市	福岡若者サポステ	2006	~2012	2004	(非)九州キャリア・コンサルタント協会
1	若者就労支援	144	長崎県長崎市	長崎若者サポステ	2007		2006	(社)若者自立支援長崎ネットワーク
1	若者就労支援	145	長崎県佐世保市	若者サポステ佐世保	2009		2006	(社)若者自立支援長崎ネットワーク
1	若者就労支援	146	長崎県五島市	五島若者サポステ	2013		2006	(社)若者自立支援長崎ネットワーク
1	若者就労支援	151	大分県大分市	おおいた地域若者サポステ	2012		2012	(非)ダーWINのたまご
2	若者自立支援	12	岩手県盛岡市	もりおか若者サポステ	2013		2011	(非)もりおかユースポート
2	若者自立支援	30	栃木県小山市	とちぎ県南若者サポステ	2011		2010	(社)とちぎ青少年自立援助センター
2	若者自立支援	37	埼玉県さいたま市	地域若者サポステさいたま	2013		2011	(非)さいたまユースサポートネット
2	若者自立支援	82	愛知県安城市	安城若者サポステ	2008		2005	(非)育て上げネット中部 虹の会
2	若者自立支援	84	愛知県豊橋市	とよはし若者サポステ	2009		2007	(非)いまから
2	若者自立支援	99	大阪府泉佐野市	南大阪若者サポステ	2007		2002	(非)おおさか若者就労支援機構
2	若者自立支援	119	島根県松江市	しまね東部若者サポステ	2012		2009	(非)ユースネットしまね
2	若者自立支援	120	島根県浜田市	しまね西部若者サポステ	2012		2009	(非)ユースネットしまね
2	若者自立支援	133	香川県丸亀市	さぬき若者サポステ	2008		2008	(非)さぬき自立支援ネットワーク
2	若者自立支援	149	熊本県宇城市	うき若者サポステ	2010		2009	(非)夢・さぼーと
2	若者自立支援	154	宮崎県延岡市	宮崎県北若者サポステ	2013		2006	(非)フロンティア会
3	不登校支援	13	岩手県宮古市	みやこ若者のサポステ	2008		1987	(非)みやこ自立サポートセンター
3	不登校支援	18	秋田県秋田市	あきた若者サポステ	2010		1998	(非)KOU(不登校を考える親の会あきた)
3	不登校支援	20	山形県米沢市	置賜若者サポステ	2010		2007	(非)With優
3	不登校支援	22	福島県福島市	ふくしま若者サポステ	2007		1999	(非)ビーンズふくしま
3	不登校支援	23	福島県郡山市	こおりやま若者サポステ	2008		1999	(非)ビーンズふくしま

「若者支援」の担い手の多様性—地域若者サポートステーション事業の展開から—

	ジャンル	立地	所在地	サポステ名称	サポステ開始年度	終了年度	団体設立年	実施団体
3	不登校支援	25	福島県会津市	会津地域若者サポステ	2012	～2012	1999	(非)寺子屋方丈舎
3	不登校支援	28	茨城県筑西市	いばらき県西若者サポステ	2013		1996	(社)アイネット
3	不登校支援	47	東京都三鷹市	みたか地域若者サポステ	2007		1974	(非)文化学習協同ネットワーク
3	不登校支援	51	東京都練馬区	ねりま若者サポステ	2013		1974	(非)文化学習協同ネットワーク
3	不登校支援	56	神奈川県相模原市	さがみはら若者サポステ	2009		1974	(非)文化学習協同ネットワーク
3	不登校支援	67	富山県黒部市	にいかわ若者サポステ	2013		1972	(非)教育研究所
3	不登校支援	101	大阪府東大阪市	東大阪若者サポステ	2009		1989	(福)つむぎ福祉会
3	不登校支援	119	島根県松江市	しまね東部若者サポステ	2009	～2011	1996	(非)リスタート
3	不登校支援	120	島根県浜田市	しまね西部若者サポステ	2011	～2011	1996	(非)リスタート
3	不登校支援	121	岡山県岡山市	おかやま若者サポステ	2006		1996	(非)リスタート
3	不登校支援	122	岡山県倉敷市	くらしき地域若者サポステ	2013		1996	(非)リスタート
3	不登校支援	123	岡山県津山市	つやま地域若者サポステ	2013		1996	(非)リスタート
3	不登校支援	142	佐賀県佐賀市	さが若者サポステ	2006		2003	(非)スチューデント・サポート・フェイス
3	不登校支援	143	佐賀県武雄市	たけお若者サポステ	2013		2003	(非)スチューデント・サポート・フェイス
4	ひきこもり支援	15	宮城県仙台市	せんだい若者サポステ	2007		1997	(非)わたげの会
4	ひきこもり支援	21	山形県山形市	やまがた若者サポステ	2011		2002	(非)発達支援研究センター
4	ひきこもり支援	39	千葉県市川市	いちかわ若者サポステ	2008		1994	(非)ニュースタート事務局
4	ひきこもり支援	43	千葉県船橋市	ふなばし地域若者サポステ	2013		2003	(非)セカンドスペース
4	ひきこもり支援	45	東京都足立区	あだち若者サポステ	2006		1977	(非)青少年自立援助センター
4	ひきこもり支援	50	東京都板橋区	いたばし若者サポステ	2010		1977	(非)青少年自立援助センター
4	ひきこもり支援	54	東京都福生市	多摩若者サポステ	2013		1977	(非)青少年自立援助センター
4	ひきこもり支援	57	神奈川県鎌倉市	湘南・横浜若者サポステ	2010		1988	(株)K2インターナショナルジャパン
4	ひきこもり支援	66	富山県高岡市	高岡地域若者サポステ	2010		1987	(非)北陸青少年自立援助センター
4	ひきこもり支援	80	愛知県蒲郡市	がまごおり若者サポステ	2007		1996	(非)青少年自立援助センター 北斗寮
4	ひきこもり支援	115	和歌山県田辺市	南紀若者サポステ	2008		2002	(非)ハートツリー
4	ひきこもり支援	137	高知県幡多郡	高知黒潮若者サポステ	2008		1977	(非)青少年自立援助センター
4	ひきこもり支援	155	鹿児島県指宿市	若者サポステかごしま静活館	2007	～2007	2005	(非)かごしま青少年自立センター
4	ひきこもり支援	155	鹿児島県鹿児島市	かごしま若者サポステ	2008		2005	(非)かごしま青少年自立センター
4	ひきこもり支援	157	鹿児島県霧島市	霧島・大隅若者サポステ	2013		2005	(非)かごしま青少年自立センター
5	メンタルヘルス	7	北海道北見市	オホーツク若者サポステ	2013		2011	(非)ワークフェア
5	メンタルヘルス	102	大阪府枚方市	枚方若者サポステ	2011		2000	(非)ホース・フレンズ事務局
6	市民活動	12	岩手県盛岡市	もりおか若者サポステ	2006	～2009	2003	(非)いわてNPOセンター
6	市民活動	29	栃木県宇都宮市	とちぎ若者サポステ	2007	～2011	1995	(非)とちぎボランティアネットワーク
6	市民活動	60	新潟県三条市		2006	～2008	2002	(非)新潟NPO協会
6	市民活動	90	三重県四日市市	北勢地域若者サポステ	2011		2004	(非)市民社会研究所
6	市民活動	106	兵庫県姫路市	ひめじ若者サポステ	2007		1991	(非)コムサロン21
6	市民活動	109	兵庫県宝塚市	宝塚若者サポステ	2013		1998	(非)宝塚NPOセンター
7	社会教育	1	北海道札幌市	さっぽろ若者サポステ	2006		1973	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
7	社会教育	4	北海道函館市	はこだて若者サポステ	2010		1979	(財)北海道国際交流センター
7	社会教育	8	北海道岩見沢市	岩見沢地域若者サポステ	2013		1973	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
7	社会教育	30	栃木県小山市	とちぎ県南若者サポステ	2008	～2010	1960	(財)ユースワーカー能力開発協会
7	社会教育	59	神奈川県小田原市	神奈川県西部地域若者サポステ	2012		1992	(非)子どもと生活文化協会(CLCA)
7	社会教育	70	山梨県甲府市	山梨県若者サポステ	2006		1970	(公財)山梨県青少年協会
7	社会教育	93	京都府京都市	京都若者サポステ	2006		1988	(公財)京都市ユースサービス協会
7	社会教育	96	京都府亀岡市	京都丹波若者サポステ	2013		2010	(非)森と農園のあるくらし
7	社会教育	105	兵庫県神戸市	こうべ若者サポステ	2006		2001	(非)こうべユースネット
7	社会教育	107	兵庫県三田市	さんだ若者サポステ	2008		2001	(非)こうべユースネット

南 出 吉 祥

	ジャンル	立地	所在地	サポステ名称	サポステ 開始年度	終了 年度	団体設 立年	実施団体
7	社会教育	110	兵庫県西宮市	西宮若者サポステ	2013		2001	(非)こうべユースネット
7	社会教育	111	兵庫県明石市	あかし若者サポステ	2013		2001	(非)こうべユースネット
7	社会教育	128	山口県宇部市	うべ若者サポステ	2008	～2009	2004	(非)おもしろファーム
7	社会教育	128	山口県宇部市	うべ若者サポステ	2010		2009	(非)ライフワーク支援機構
7	社会教育	129	山口県下関市	しのもせき若者サポステ	2013		2009	(非)ライフワーク支援機構
7	社会教育	138	福岡県福岡市	福岡若者サポステ	2013			(非)JACFA
7	社会教育	141	福岡県久留米市	筑後地域若者サポステ	2013		1968	(非)JACFA
7	社会教育	158	沖縄県沖縄市	地域若者サポステ沖縄	2007		1994	(社)日本青少年育成協会沖縄支部
7	社会教育	159	沖縄県那覇市	地域若者サポステはな	2009		2003	(非)なはまちづくりネット
8	学校教育	6	北海道帯広市	おびひろ地域若者サポステ	2011		1933	(学)国際学園
8	学校教育	26	福島県西白河郡	ふくしま県南地域若者サポステ	2013		1996	(株)アネシス学院
8	学校教育	25	福島県会津市	会津地域若者サポステ	2013		1970	(株)みとみ
8	学校教育	53	東京都八王子市	はちおうじ地域若者サポステ	2013		1972	(学)国際学園
8	学校教育	74	長野県上田市	若者サポステ・シナノ	2008		2004	(非)侍学園スクオーラ・今人
8	学校教育	113	奈良県桜井市	若者サポステやまと	2008	～2012	1963	(学)神須学園
8	学校教育	139	福岡県北九州市	北九州若者サポステ	2012		1939	(学)麻生塾
8	学校教育	140	福岡県飯塚市	筑豊若者サポステ	2013		1939	(学)麻生塾
8	学校教育	147	熊本県熊本市	くまもと市・あそ若者サポステ	2012	～2012	1880	(学)熊本YMCA学園
8	学校教育	148	熊本県玉名市	たまな若者サポステ	2009		1945	(学)松本学園
8	学校教育	150	熊本県人吉市	ひとよしくま若者サポステ	2013		2011	(非)くまもと学習支援ネットワーク
8	学校教育	153	宮崎県宮崎市	みやざき若者サポステ	2008	～2009	2004	(株)宮崎コミュニティカレッジ
8	学校教育	153	宮崎県宮崎市	みやざき若者サポステ	2010		2004	(株)九州コミュニティカレッジ
9	障害者福祉	14	岩手県一関市	いちのせき若者サポステ	2013		2007	(非)いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊
9	障害者福祉	24	福島県いわき市	いわき若者サポステ	2009		2007	(非)すだち
9	障害者福祉	27	茨城県水戸市	いばらき若者サポステ	2007		2007	(非)すだち
9	障害者福祉	36	埼玉県春日部市	埼玉とうぶ若者サポステ	2013		2007	(非)すだち
9	障害者福祉	69	福井県福井市	ふくい若者サポステ	2006		2005	(非)福井県セルフ振興センター
9	障害者福祉	76	静岡県三島市	しずおか東部若者サポステ	2007		1989	(非)リベラヒューマンサポート
9	障害者福祉	78	静岡県浜松市	地域若者サポステはままつ	2011		1992	(非)遠州精神保健福祉をすすめる市民の会
9	障害者福祉	98	大阪市高槻市	北大阪若者サポステ	2007		2002	(非)フェルマータ
10	地域福祉	60	新潟県三条市	三条地域若者サポステ	2009		2006	ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟
10	地域福祉	63	新潟県長岡市	長岡地域若者サポステ	2013		2006	ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟
10	地域福祉	72	長野県塩尻市	しおじり若者サポステCAN	2006		2006	(非)ジョイフル
10	地域福祉	89	三重県伊賀市	いが若者サポステ	2009		1948	(福)伊賀市社会福祉協議会
10	地域福祉	94	京都府綾部市	あやべ若者サポステ	2008		1999	(非)あやべ福祉フロンティア
10	地域福祉	95	京都府宇治市	宇治(京都南)若者サポステ	2012		1992	(非)まごころ
10	地域福祉	136	高知県高知市	こうち若者サポステ	2007		1951	(福)高知県社会福祉協議会
10	地域福祉	147	熊本県熊本市	くまもと若者サポステ	2007		2005	(非)おーさあ
11	児童福祉	103	大阪府富田林市	南河内若者サポステ	2013		2010	(非)子ども・若もの支援ネットワークおおさか
11	児童福祉	117	鳥取県鳥取市	とっとり若者サポステ	2008		1906	(福)鳥取こども学園
11	児童福祉	118	鳥取県米子市	よなご若者サポステ	2013		1906	(福)鳥取子ども学園
11	児童福祉	156	鹿児島県奄美市	奄美若者サポステ	2008		1983	(非)奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」
12	労働者福祉	65	富山県富山市	富山県若者サポステ	2006			(財)富山勤労総合福祉センター
12	労働者福祉	87	三重県津市	若者就業サポステ・みえ	2006			(財)三重県労働福祉協会
12	労働者福祉	97	大阪府大阪市	大阪府若者サポステ	2006		1946	(財)大阪労働協会
12	労働者福祉	127	山口県周南市	しゅうなん若者サポステ	2008		1969	(社)山口県労働者福祉協議会
12	労働者福祉	130	徳島県徳島市	とくしま地域若者サポステ	2006		1975	(社)徳島県労働者福祉協議会

「若者支援」の担い手の多様性—地域若者サポートステーション事業の展開から—

	ジャンル	立地	所在地	サポステ名称	サポステ 開始年度	終了 年度	団体設 立年	実施団体
12	労働者福祉	131	徳島県阿波市	あわ地域若者サポステ	2012		1975	(社)徳島県労働者福祉協議会
13	職業訓練	38	千葉県千葉市	ちば若者サポステ	2006	～2010		(職)テクノピラミッド運営機構
13	職業訓練	68	石川県金沢市	いしかわ若者サポステ	2006	～2010		(社)石川県雇用支援協会
13	職業訓練	124	広島県広島市	広島地域若者サポステ	2008		2005	(非)キャリアネット広島
14	人材育成	9	青森県青森市	あおもり若者サポステ	2013		1967	(株)日本マンパワー
14	人材育成	9	青森県青森市	あおもり若者サポステ	2011	～2012	2011	(非)プラットフォームあおもり
14	人材育成	10	青森県弘前市	ひろさき若者サポステ	2013		2011	(非)プラットフォームあおもり
14	人材育成	31	栃木県那須塩原市	とちぎ県北若者サポステ	2009		2005	(非)キャリアコーチ
14	人材育成	62	新潟県村上市	村上地域若者サポステ	2008	～2012	1994	(株)アルプスビジネスクリエーション新潟
14	人材育成	71	山梨県富士吉田市	ぐんない若者サポステ	2013		1999	(有)アドラック
14	人材育成	77	静岡県静岡市	静岡地域若者サポステ	2007	～2009	1979	(株)東京リーガルマインド
14	人材育成	92	滋賀県大津市	大津若者サポステ	2006	～2010	1979	(株)東京リーガルマインド
14	人材育成	114	和歌山県和歌山市	若者サポステわかやま	2008	～2008	1979	(株)東京リーガルマインド
14	人材育成	134	愛媛県松山市	えひめ若者サポステ	2006		1986	(株)イヨテツケータサービス
14	人材育成	135	愛媛県新居浜市	東予若者サポステ	2009		1986	(株)イヨテツケータサービス
15	情報インフラ	38	千葉県千葉市	ちば地域若者サポステ	2011		1998	(株)アクティブブレインズ
15	情報インフラ	42	千葉県木更津市	ちば南部地域若者サポステ	2013		1998	(株)アクティブブレインズ
15	情報インフラ	44	千葉県茂原市	ちば南東部地域若者サポステ	2013		1998	(株)アクティブブレインズ
15	情報インフラ	88	三重県伊勢市	いせ若者就業サポステ	2008		2005	(非)いせコンビニネット
15	情報インフラ	132	香川県高松市	かがわ若者サポステ	2006		1999	(株)穴吹カレッジサービス
16	企業支援	9	青森県青森市	あおもり若者サポステ	2007	～2010	1969	(財)21あおもり産業総合支援センター
16	企業支援	19	山形県酒田市	庄内地域若者サポステ	2006			山形県中小企業団体中央会
16	企業支援	77	静岡県静岡市	静岡地域若者サポステ	2010	～2011		静岡県中小企業団体中央会
16	企業支援	91	滋賀県草津市	滋賀県地域若者サポステ	2011			滋賀県中小企業家同友会
16	企業支援	92	滋賀県大津市	大津若者サポステ	2013			滋賀県中小企業家同友会
16	企業支援	112	奈良県奈良市	なら若者サポステ	2007		1955	奈良県中小企業団体中央会
16	企業支援	151	大分県大分市	おおいた地域若者サポステ	2007	～2011	1999	(株)ベンチャーラボ
17	仕事起こし	2	北海道旭川市	あさひかわ若者サポステ	2008		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	3	北海道釧路市	くしろ若者サポステ	2009		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	5	北海道苫小牧市	とまこまい若者サポステ	2011		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	11	青森県八戸市	はちのへ若者サポステ	2013		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	12	岩手県盛岡市	もりおか若者サポステ	2011	～2012	1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	16	宮城県大崎市	みやぎ北若者サポステ	2007		1982	企業組合 労協センター事業団
17	仕事起こし	17	宮城県石巻市	石巻地域若者サポステ	2013		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	35	埼玉県熊谷市	労協サポステ熊谷	2010	～2011	1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	35	埼玉県深谷市	深谷若者サポステ	2013		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	41	千葉県成田市	ちば北総地域若者サポステ	2012		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	48	東京都新宿区	しんじゅく若者サポステ	2008		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	49	東京都世田谷区	せたがや若者サポステ	2009		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	61	新潟県新潟市	新潟地域若者サポステ	2007		1982	企業組合 労協センター事業団
17	仕事起こし	62	新潟県村上市	村上地域若者サポステ	2013		1971	企業組合 労協センター事業団
17	仕事起こし	73	長野県長野市	ながの若者サポステ	2008		1980	企業組合 労協ながの
17	仕事起こし	86	愛知県春日井市	春日井若者サポステ	2013		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	108	兵庫県豊岡市	若者サポステ豊岡	2009		1971	企業組合 労協センター事業団
17	仕事起こし	125	広島県広島市	ひろしま北部若者サポステ	2013		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	152	大分県南部	大分県南地域若者サポステ	2013		1971	(非)ワーカーズコープ
17	仕事起こし	160	沖縄県名護市	地域若者サポステなご	2011		1971	(非)ワーカーズコープ